

# 「平成29年度から新たに取組む自律改革案件」

平成29年 9月1日

No	事項名	自律改革取組前の状況 (現状・課題)	提案部	備考
1	口座振替による支払の中止 手順の再点検	<p>○(現状) 口座振替による債権者への支払を中止する場合、口座振替支払事務取扱要領等(以下、「各要領等」という。)に基づき、局所が中止通知書を作成し出納課へ送付、出納課は中止通知書の内容を確認した後、指定金融機関に中止依頼を行っている。</p> <p>○(課題) 中止通知書は、各要領等で規定された送付期限の直前に送付されるケースが多く、送付が集中した場合、指定金融機関の処理可能件数を超過してしまうことが想定される。このため、支払事故の発生を未然に防止する観点から、口座振替による支払の中止手順について再点検を行う。</p>	管理部	
2	審査の質の向上と確実な業務の推進	<p>○(現状) 警察出納課では、警視庁の事業が平時、非常時を問わず円滑に遂行されるよう、会計事務処理における最終審査部門として、業務の確実な遂行と質の向上に努めている。</p> <p>○(課題) 審査の質の向上と確実な業務推進のために、局内外関係部署との連携を更に進め、情報の共有化と知識及び実務能力の向上を図る必要がある。</p>	警察・消防出納部	
3	消防署等に対する支援の推進	<p>○(現状) 消防出納課では、東京消防庁の会計事務における最終審査部門として、厳正な審査と状況に応じた迅速・正確な支払対応に努めている。</p> <p>○(課題) 東京消防庁の事業執行が、より適正・円滑に行えるように局内外の関係部門と連携・情報共有を行い、消防署等の実務能力向上を図るため一層の支援を行う必要がある。</p>	警察・消防出納部	

No	事項名	自律改革取組前の状況 (現状・課題)	提案部	備考
4	固定電話用ヘッドセットの配布	<p>○(現状) 電話による照会対応が多い部署においては、通話しながらの作業(記録を取る、資料や過去の記録を探す等)が日常的に発生しているが、片手が受話器で塞がれた状態でそのような作業を行わなければならないため事務として非効率である。</p> <p>○(課題) 電話による照会対応が多い部署には、事務の効率化のため、固定電話用のマイク付きヘッドセットを配布する必要がある。</p>	管理部	
5	ペーパーレス会議・打合せの推進及び両面印刷の徹底	<p>○(現状) 会議や打合せにおいて、修正があった場合、資料を作成し直し、再度時間を設けて確認を行うことから非効率な業務体制となっている。また、その都度資料を作成し直し、片面印刷で配付することから大量の紙を消費するとともに、個々が同じ資料を所持・保管することから保管資料が重複し、非効率的な管理体制となっている。</p> <p>○(課題) 会議や打合せにおいてペーパーレス化や両面印刷を推進することにより、効率的な業務体制及びコストの削減を図る必要がある。</p>	管理部	
6	消耗品調達事務の円滑化	<p>○(現状) 本庁の消耗品については、局の経理担当が、一定の在庫を、供用場所にてまとめて提供している。在庫が不足すると、消耗品の要求者が個別に在庫補充の要請を経理担当に行く。</p> <p>○(課題) 経理担当への要請のタイミングが不規則で、経理担当が不在の場合、事務に滞りが生じる場合や、請求内容が重複し、無駄な事務が発生している。そのため、消耗品の要求者と経理担当者間の連絡方法を工夫する必要がある。</p>	管理部	

No	事項名	自律改革取組前の状況 (現状・課題)	提案部	備考
7	課内職員全員の退庁時間の見える化	<p>○(現状) 公金管理課においては、退庁時間の管理について、超過勤務が必要な際に課長への事前届け出を適切に行っているところであるが、職員個々の間では、退庁予定時間の共有が徹底しきれていない。 そのため、職員間の連携や調整が必要な場合等において、各自の退庁時間を念頭に置いた上での効率的な業務遂行が図られていないケースが見受けられ、結果として、不必要な超過勤務が発生する要因にもなっている。</p> <p>○(課題) 管理職以下、課内の職員の退庁予定時間について、職員全員が毎日把握できるようにすることで、定時退庁を強く意識した効果的な業務執行体制の確立と、職員各々のタイムマネジメント能力の向上を図る必要がある。</p>	管理部	
8	検査関係書類の管理の厳格化	<p>○(現状) 検査で全日出張することが多い検査担当職員は、互いに不在職員の机の上に置く方法で検査関係書類の受け渡しを行っている。また、出張時に持ち運ぶ書類には取扱いを注意すべき書類も含まれるが、特別な運搬方法の検討がなされていなかった。</p> <p>○(課題) 机上に置いて受け渡すことは、紛失リスクだけでなく紛失時の責任の所在を曖昧にするリスクも包含しており、また、現状の運搬方法では情報漏えいリスクを包含しているため、これらを解消する必要がある。</p>	管理部	